

(振興局調整費)

部 名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的・必要性	事業費 (円)	委託・ 負担金・ 直営	事業実施状況	事業実施主体	事 業 対 象 者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業の効果	今後の課題及び 取組方向
総務企画部	畠山 学	地域企画課	企画観光振 興班	佐藤 捷夫	0186-62- 1251	伊勢堂岱遺跡PR事業	伊勢堂岱遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」を2021年の世界遺産登録候補としてユネスコへ推薦すると政府から発表があった。	151,470	直営	伊勢堂岱遺跡PR/パネルの制作 ・9種2セット 主な設置場所:北秋田地域振興局、大館能代空港、道の駅(大館能代空港、たかのす、かみこあに)、北秋田市民ふれあいプラザ	県	観光客、施設利用者	令和2年1月6日	庁舎での常設展示のほか、管内の主要施設に定期的に展示することにより、多くの方に周知することができた。	2020年夏以降にはイコモスによる現地調査が予定されており、世界遺産登録に向けた地元の機運を一層盛り上げ、また県内外において認知向上を図る必要がある。
						令和2年1月6日～ 令和2年3月31日									
農林部	工藤 輝喜	農業振興普及課	産地・普及 班	松山奈央	0186-62- 3950	直売果実の長期販売力向上事業	管内の農産物直売所では冬場から春にかけて農産物の品不足が課題となっており、棚の充実を図るために、スマートフレッシュ技術を導入し、長期出荷を目指した果樹栽培を実現させ、栽培農家の所得向上に結びつける。	307,997	直営	・スマートフレッシュ講習会(令和元年10月8日) ・スマートフレッシュ実証(令和元年10月29日、11月6日) ・果実品質調査(令和元年10月30日、11月6日、12月10日、令和2年1月8日、2月14日、3月6日、3月18日、3月30日) ・生産者試食会(令和2年2月28日) ・試食販売実証(令和2年3月20～21日)	県	農業者	令和元年10月8日	実証により「秋田紅あかり」の処理適期(収穫期)を確認することができ、3月までの鮮度保持効果が確認できた。また、試食会で生産者に処理効果を確認してもらったことにも、試食販売実証で消費者に提供し、価格に見合った品質である可能性が考えられる場合、再度、調整費事業等での実証を検討していく。	処理果実の内部変化の追跡を4月以降も注視することで、販売可能な期間を検証する。
						令和元年10月8日～ 令和2年3月31日									
農林部	工藤 輝喜	森づくり推進課	林業振興班	小笠原正太	0186-62- 1445	北秋田地域ハンター(マタギ)育成事業	野生鳥獣による農林業被害や人身事故の防止と有害鳥獣捕獲業務の担い手である既狩猟者の高齢化問題を改善するため、地域一帯で狩猟者の確保・育成に取り組み、安心・安全な里山の生活を確保していく。	134,636	直営	①狩猟免許取得試験の案内ポスターの掲示 ・ポスター作成 50部 ・管内市村関係施設での掲示 ②狩猟免許及び銃所持許可取得のための支援メニューの紹介 ・パンフレット作成・配布 200部	県	地域住民	令和元年10月1日	試験案内ポスターについては、管内市村関係施設に掲示し多くの方に周知している。狩猟免許取得に関する支援メニューのパンフレットについても、対象者に周知できている。	ポスター及びパンフレットについては、今年度作成したフォーマットを活用し、次年度以降も作成する。今後は市村、消防、農協等の職員などへ個別呼びかけなども考えており、深刻化が予想される鳥獣害対策に対して早めの対応を行う。
						令和元年10月1日～ 令和2年3月31日									